



PORSCHE

07. Sep. 2015

Vol.95/15

ドライビングプレジャー、パフォーマンス、効率性を向上させた  
ニューポルシェ 911 カレラの予約受注を開始

新しいエンジン、進化したシャシー、  
ポルシェ コミュニケーション・マネージメント

ポルシェ ジャパン株式会社（本社：東京都目黒区 代表取締役社長：七五三木 敏幸）は、何十年もの間、世界で最も人気の高いスポーツカーであり続けているニュー911 カレラ、ニュー911 カレラ カブリオレ、ニュー911 カレラ S、ニュー911 カレラ S カブリオレの予約受注を、2015年9月11日(金)より全国のポルシェ正規販売店にて開始いたします。

新たに登場する次世代 911 では、革新的な水平対向ターボエンジン、パフォーマンスと快適性が際立つ進化したシャシー、および新しいインフォテイメントシステムなどが開発されました。モータースポーツと市販スポーツカーでのターボエンジンに関する40年以上のノウハウにより、ニュー911 カレラに搭載される新しいエンジンは、パフォーマンス、ドライビングプレジャー、および効率性の面でベンチマークを確立します。911 カレラの各モデルに初めてオプション設定されるリアアクスルステアは、ドライビングダイナミクスを大幅に飛躍させます。

911 カレラのエクステリアでは、4灯式ウエルカムホームライトを備える新しいヘッドライトから、リセスカバーのないドアハンドル、縦のスリットを備えるエンジンフード、そして特徴的な4灯式ブレーキライトを含む新しいテールライトなど多くの外観的特徴がリファインされています。インテリアでは、新たに標準装備されるマルチタッチディスプレイ付ポルシェ・コミュニケーション・マネージメントシステムが、機能を大幅に拡大するとともに、極めて優れた操作性を実現します。

新しいターボエンジン：20PSのパワーアップと燃料消費量の低減を両立

完全に新世代となったツインターボエンジンは、911 カレラの感動的なドライビングプレジャーを、さらに強烈な体験へと引き上げます。911 カレラのリアに搭載されたエンジンは、370PS（272kW）のパワーを解放してスポーティな駆動力に変換する、その時を待ち構えています。911 カレラ S のエンジンは、420PS（309kW）を発生します。いずれの場合も先代モデル比で20PS（15kW）のパワーアップを果たしています。両方のエンジンともに排気量は3リッターです。911 カレラ S のより大きなパワーは、改良されたコンプレッサーを備えるターボチャージャー、専用のエグゾーストシステム、およびエンジン・マネージメントシステムのチューニングによるものです。

新しいエンジンの特徴づけるものは、大幅に向上したトルクです（共に先代比 60N・m 増）。いずれの場合も、1,700rpm の低回転域から 5,000rpm に至るまで、それぞれ 450N・m と 500N・m の最大トルクを常に発生し、優れたドライビングパフォーマンスを約束します。同時に、最高回転数が 7,500rpm に達する新世代のエンジンは、従来のターボエンジンの最高回転数を大幅に上回ります。これを際立たせるのが、ポルシェならではのエンジンサウンドです。

全ての新世代 911 は、先代モデルと比べて向上したパフォーマンスと効率性を誇ります。例えば、モデルバリエーションによっては、新世代エンジンは約 12 パーセントも効率性に優れ、100km 走行あたりの燃料消費量は最大 1 リッターも低減されています。911 カレラの PDK 仕様車は、今や 100km あたりわずか 7.4 リッターの燃料しか消費しません（100km あたり 0.8 リッター減）。一方、911 カレラ S の PDK 仕様車の燃料消費量は 7.7 リッター/100km です（100km あたり 1.0 リッター減）。\*新欧州サイクル(NEDC)による計測

ニュー911 は、パフォーマンスも印象的です。ポルシェ・ドッペルクップルング（PDK）とスポーツクロノパッケージを装備する 911 カレラ クーペは、静止状態から 100km/h まで 4.2 秒で加速します。これは、先代モデルよりもコンマ 2 秒速いタイムです。PDK とスポーツクロノパッケージを装備する 911 カレラ S は、同じテストをわずか 3.9 秒でこなし（同じく 0.2 秒短縮）、4 秒を切った初めての 911 カレラシリーズとなりました。そして、いずれのモデルの最高速度もさらに向上しています。911 カレラの最高速度が 295km/h をマークする一方（6km/h 向上）、911 カレラ S では 306km/h にも達します（4km/h 向上）。

オプションのスポーツクロノパッケージを選択すると、911 カレラのステアリングホイールに、918 スパイダーのハイブリッドモードスイッチに由来するモードスイッチが備わります。モードスイッチは、「ノーマル」、「スポーツ」、「スポーツ・プラス」、「インディビジュアル」の走行モードに応じた 4 つのポジションを持つロータリーリングで構成されます。「インディビジュアル」モードでは、装備に応じて、例えば PASM、アクティブエンジンマウント、PDK シフトプログラム、スポーツエグゾーストシステムなどの車両設定を、ドライバーが自分の好みに合わせて調整することができます。PDK 仕様車では、モードスイッチに「スポーツレスポンスボタン」が追加されます。このボタンを押すと、例えば追い越しをかける場面などで、20 秒間の最大加速に備えてドライブトレインのセッティングが変更されます。スポーツレスポンスボタン作動時には最適なギアが選ばれ、エンジン・マネージメントは特定の時間、よりいっそうシャープに反応するように調整されます。

標準装備：再設計された PASM シャシーは車高を 10mm 低く設定

911 カレラのドライビングダイナミクスは、オールラウンドスポーツカーのベンチマークです。すべてのニューモデルにおいて日常での快適性とサーキットでのパフォーマンスが、より際立っています。車高を 10mm 低く設定する新しい PASM シャシー（ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム）が、初めて 911 カレラの全モデルに標準装備され、高速コーナリング中の安定性が向上します。同時に、より幅広い特性を持つ新世代のショックアブソーバーは、いっそう正確になった応答特性のおかげで快適性を高め、さらにドライビングダイナミクスを改善します。スリムな 5 本ツインスポークを採用する新しい標準ホイールには、転がり抵抗が低減され性能を向上させたタイヤが装着されます。さらに、全てのバリエーションにおいて、リアホイールの幅が 0.5 インチ拡大されて 11.5 インチになりました。これで 911 カレラ S のリアタイヤの幅は、これまでの 295mm に代わって 305mm になっています。

911 カレラ S にオプションとして用意されるアクティブリアアクスルステアは、911 ターボおよび 911 GT3 から取り入れられたシャシーテクノロジーです。911 の旋回性能をいっそう向上させることに加え、高速走行時の車線変更において高い走行安定性をもたらします。同時に、最小回転径が 0.5m 減少することで、市街地での取り回しがいっそう容易になります。改善されたハンドリングは、918 スパイダーのステアリングホイールをベースにデザインされた新世代のステアリングホイールを介してドライバーに伝えられます。標準ステアリングホイールの直径は 375mm で、オプションの GT スポーツステアリングホイールでは 360mm です。日常の実用性が制限されないように、フロントアクスルのストラットには昇降用シリンダーを内蔵した油圧式リフティングシステムがオプション設定されています。ボタンを押すと、フロントの最低地上高が 5 秒以内に 40mm 上昇することで、傾斜の急な車庫の出口などで車両のアンダーボディが地面に接触することを防ぎます。

### オンラインナビゲーションを組み込んだ新しいポルシェ コミュニケーション・マネジメントシステム

ニュー911 カレラの各モデルには、オンラインナビゲーションモジュールとボイスコントロール機能を備える新開発のポルシェ コミュニケーション・マネジメントシステム(PCM) が標準装備されます。この PCM にはスマートフォンのような操作性を実現させた、マルチタッチ対応の 7 インチディスプレイが備わり、ユーザーは手書き入力をすることも可能です。また、Wi-Fi を使用すれば、携帯電話やスマートフォンを接続することもできます。iPhone を PCM に接続することで Apple CarPlay が使用できるようになったのも新たな特徴のひとつです。

交通情報が利用できるようになったことで、ナビゲーションの性能が大幅に向上しました。この情報は交通状況の概略をドライバーが素早く理解できるようにするためのもので、ルート案内に対してもダイナミックに反映されます。Google Earth および Google ストリートビューも初めて組み込まれたため、方向をより正確に把握することが可能です。

### 新規および拡張されたオプション:アシスタントシステム

911 カレラでは、オプションとして新規および改良されたアシスタントシステムを使うことで、個人的な好みに、より忠実な仕様に仕上げるのが可能です。オートマチックスピードコントロールは、例えば坂道を下る際に設定速度を超えると、軽くブレーキを作動させるようになっています。アダプティブクルーズコントロール (ACC) には、PDK との組み合わせでコースティング機能が備わります。交通の流れに合わせて走行する際にクラッチを切ることで、エンジンの駆動力を使わないコースティング状態となって燃料を節約します。レーンチェンジアシストは、レーダーで後方の交通をモニターし、死角から接近してくる車両があるとミラートライアングルの左右に組み込まれた LED ランプを使ってドライバーに警告します。さらに、ポルシェは、マルチコリジョンブレーキシステムを標準装備することにより、スポーツカーのアクティブセーフティを高めます。

## モータースポーツと市販車における 40 年のターボの経験

ポルシェでは、極限のレース条件において実力を証明してきたイノベーションと開発が、常に市販車にも恩恵をもたらします。特にモータースポーツにおいて試されたターボテクノロジーを市販スポーツカーにフィードバックすることで、エンジンのパフォーマンスとダイナミクスは向上してきました。ポルシェは、水平対向 6 気筒ターボエンジンの開発において、40 年以上のノウハウを誇ります。例えば、バイパスバルブを備えたターボチャージャーは、1972 年に 917/10 レーシングカーに初めて用いられ、その 2 年後の 1974 年に、初代 911 ターボで市販車に取り入れられました。1974 年には、インタークーラーも 917/10 に初めて導入されました。続いて 1977 年に、このテクノロジーは 911 ターボ 3.3 において市販モデルデビューを飾りました。ターボエンジンの開発におけるその他の画期的な出来事としては、2 基のターボチャージャーを直列に連結したシーケンシャルターボ（スーパースポーツカーの 959 に初めて使用）、2 基のターボチャージャーを並列に配置したツインターボ（911 ターボ \*タイプ 993 で初めて採用）、可変吸気バルブ（911 ターボ \*タイプ 996 で初めて採用）などがあります。

### ニューポルシェ 911 カレラシリーズ 希望小売価格

2015 年 9 月 11 日より

車種	トランスミッション	ハンドル	希望小売価格 (消費税込価格)
ニュー911 カレラ	7 速 MT	右 / 左	¥12,440,000
	7 速 PDK	右 / 左	¥13,091,000
ニュー911 カレラ カブリオレ	7 速 PDK	右 / 左	¥15,100,000
ニュー911 カレラ S	7 速 MT	右 / 左	¥15,191,000
	7 速 PDK	右 / 左	¥15,841,000
ニュー911 カレラ S カブリオレ	7 速 PDK	右 / 左	¥18,130,000

<本件に関する読者からのお問い合わせ先>  
ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911  
ポルシェ ホームページ <http://www.porsche.com/japan/>

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>  
ポルシェ ジャパン株式会社  
広報室 / 荒瀬大雅 塚原 久 木内洋治  
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F  
TEL : 03-5436-5936 FAX : 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>